日本学術振興会に紙媒体で提出する必要はありません。

2版

様　式　Ｆ－７－１

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（令和元年度）

機関番号	３２６０４

所属研究機関名称		大妻女子大学
研究代表者	部局	社会情報学部
	職	教授
	氏名	大橋　寿美子

１．研究種目名　基盤研究(C)(一般)　　２．課題番号　17K00806

３．研究課題名　高齢期に対応した多世代共生型集住（コレクティブハウス）の有用性に関する研究

４．補助事業期間　平成２９年度～令和２年度

５．研究実績の概要

本研究は北欧の先進事例の分析をもとに、若い人から高齢者まで共に暮らし、高齢期まで安心して住み続けることができる多世代での共生型集住コレクティブハウスの住運営システムのあり方を示すことを目的としている。

令和元年度は、①スウェーデンにおける住宅政策および福祉政策を背景としたコレクティブハウス形成過程および供給方式と運営の現状の把握、②スウェーデンにおけるコレクティブハウスの住宅供給方式の現状と傾向の把握を行った。

①については、スウェーデンの住宅政策の流れ（「国家の家」構想1928年→自治体による住宅供給体制1942年→「ミリオンプラン」1960年代→住宅供給の民営化1990年代）を把握した。またコレクティブハウスの供給は住宅政策の一部に位置づけられることはなかったが、現在は住選択の一つに上げられ、コレクティブハウスなどの「共同生活型住居」が社会的支持を得られる素地が整い始めてきたことが明らかになった。またスウェーデン社会におけるコレクティブハウスの成立要因には、協同組合思想を基礎として高齢でも独立した生活を維持する社会習慣と支える社会サービスシステムがあること、が挙げられる。

②については、スウェーデンにある全コレクティブハウス58件を対象として、建設状況や供給方式など現在の実態と傾向を明らかにした。コレクティブハウスは、ストックホルム市に多く点在しているが、イエテボリなど地方都市にも点在している。また適正とされる20～50世帯規模が多いが、1980年代に建設されたものは高齢者施設などを併設している大規模なものが多い。さらに供給方式は、事業主と入居者が直接契約する方式や、居住者組合が事業主から居住権を購入する方式、事業主から居住者組合が一括借り上げ居住者組合が居住者に居住権を転貸する方式などの様々な方式が出てきていることが明らかになった。

６．キーワード

コレクティブハウス　高齢期　スウェーデン　供給方式　住宅運営　入居者選定

７．現在までの進捗状況

区分　(3) やや遅れている。

理由

やや遅れている理由は以下である。

昨年度中に現在までの研究成果をとりまとめて学会誌に投稿する予定であったが、コロナウイルスの影響などで、訪問ヒアリング調査が実施できずデータ収集と分析が終了していないため、論文作成が遅れている。

８．今後の研究の推進方策

スウェーデンでのコレクティブハウスの調査結果をもとに、日本型の高齢期に対応した共生型集住（コレクティブハウス）の住運営システムや供給方式について、日本のコレクティブハウスの居住者と意見交換を行いながら、検討し提案を行う。
また、現在までの研究成果を、日本家政学会、日本建築学会などに投稿する予定である。

９．次年度使用が生じた理由と使用計画

昨年度中に現在までの研究成果をとりまとめて学会誌に投稿する予定であったが、コロナウイルスの影響などで、訪問ヒアリング調査が実施できずデータ収集と分析が終了していないため、論文作成が遅れている。そのため、研究成果をとりまとめた論文を次年度に投稿するため、要旨などの英文添削料および論文投稿料として使用する予定です。

１０．研究発表（令和元年度の研究成果）

〔雑誌論文〕　計4件（うち査読付論文　0件／うち国際共著　0件／うちオープンアクセス　0件）

１．著者名 松本暢子,大橋寿美子,岡崎愛子	４．巻 2019
２．論文標題 スウェーデンにおけるコレクティブハウスの供給方式と運営実態その1－スウェーデンの住宅政策とコレクティブハウス－	５．発行年 2019年
３．雑誌名 日本建築学会大会学術講演梗概集	６．最初と最後の頁 1377-1378
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

１．著者名 岡崎愛子,大橋寿美子,松本暢子	４．巻 2019
２．論文標題 スウェーデンにおけるコレクティブハウスの供給方式と運営実態その2－コレクティブハウスの住宅供給方式の現状－	５．発行年 2019年
３．雑誌名 日本建築学会大会学術講演梗概集	６．最初と最後の頁 1379-1380
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

１．著者名 大橋寿美子,松本暢子,岡崎愛子	４．巻 2019
２．論文標題 スウェーデンにおけるコレクティブハウスの供給方式と運営実態その3－熟年コレクティブハウス「フェルドクネッペン」の運営分析から－	５．発行年 2019年
３．雑誌名 日本建築学会大会学術講演梗概集	６．最初と最後の頁 1381-1382
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

１．著者名 大橋寿美子,岡崎愛子,松本暢子	４．巻 71
２．論文標題 熟年コレクティブハウスにおける住運営と生活実態part2-コレクティブハウス「ドンデルバッケン」の調査から-	５．発行年 2019年
３．雑誌名 日本家政学会第７１回大会　研究発表要旨集	６．最初と最後の頁 94
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

〔学会発表〕　計4件（うち招待講演　0件／うち国際学会　0件）

１．発表者名 松本暢子,大橋寿美子,岡崎愛子
２．発表標題 スウェーデンにおけるコレクティブハウスの供給方式と運営実態その1－スウェーデンの住宅政策とコレクティブハウス－
３．学会等名 日本建築学会
４．発表年 2019年

１．発表者名 岡崎愛子,大橋寿美子,松本暢子
２．発表標題 スウェーデンにおけるコレクティブハウスの供給方式と運営実態その2－コレクティブハウスの住宅供給方式の現状-
３．学会等名 日本建築学会
４．発表年 2019年

１．発表者名 大橋寿美子,松本暢子,岡崎愛子
２．発表標題 スウェーデンにおけるコレクティブハウスの供給方式と運営実態その3－熟年コレクティブハウス「フェルドクネッペン」の運営分析から－
３．学会等名 日本建築学会
４．発表年 2019年

１．発表者名 大橋寿美子,岡崎愛子,松本暢子
２．発表標題 熟年コレクティブハウスにおける住運営と生活実態part2-コレクティブハウス「ドンデルバッケン」の調査から-
３．学会等名 日本家政学会
４．発表年 2019年

〔図書〕　計0件

１１．研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件（うち出願0件／うち取得0件）

１２．科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

１３．本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

－

１４．備考

－